

フロイント産業株式会社  
「経済産業省認定GNT企業」

**JASDAQ**  
(証券コード 6312)

2022年2月期 第2四半期  
決算説明資料

2021年10月21日

 **FREUND**

## 目次

---

- 2022年2月期 第2四半期 連結決算概況 . . . P.02
- 2022年2月期 連結業績・配当予想 . . . P.14
  
- トピックス . . . P.18
  
  
- <参考資料> . . . P.20
- <Factsheet> . . . 別紙

2022年2月期 第2四半期  
連結決算概況



## 連結決算サマリ

- 前年同期比増収、増益。
- 機械部門はGr各社が増収。Cos.Mec社の連結化もあり、売上高は機械部門が牽引。
- 前年同期の利益には、特殊要因（米国子会社の補助金2億円強）が含まれており、営業利益・経常利益は実質的には約3億円の増益。
- 機械受注高、受注残高ともに前年実績を上回る。

(単位：百万円)

	2021/2月期 上半期 実績	2022/2月期 上半期 実績	前年同期比増減	
			金額	%
売上高	7,043	8,048	+1,004	+14.3%
営業利益	251	329	+78	+31.2%
経常利益	271	350	+78	+29.1%
四半期純利益	183	226	+42	+23.2%
一株純利益 (円)	10.98	13.52	+2.54	-
受注高	6,705	7,695	+989	+14.8%
受注残高	7,330	9,034	+1,704	+23.2%
設備投資	171	239	+68	+39.8%
減価償却費	196	241	+45	+23.2%
研究開発費	267	308	+40	+15.2%
ROA	1.0%	1.1%	-	-
ROE	1.4%	1.6%	-	-

## 機械部門：グループ会社別動向

- 連結：増収、前年の特殊要因により実質増益。受注、受注残高ともに前年を上回る。
- 単体：輸出案件の一部に期ズレが発生するも前年比増収を確保。受注は中国向けが足踏み。
- FREUND-VECTOR社：前年比増収、実質増益。米国、ブラジル等向けの受注が回復。
- フロイント・ターボ社：前年比増収、増益。化学・電池向けとも回復基調。
- Cos.Mec社：主要マーケットである新興国のコロナ影響により上期は苦戦。

(単位：百万円)

	2021/2月期 上半期		2022/2月期 上半期	
	金額	前年同期比(%)	金額	前年同期比(%)
<b>売上高</b>	<b>4,125</b>	<b>+4.1</b>	<b>5,366</b>	<b>+30.1</b>
単体	2,838	+17.7	2,903	+2.3
FREUND-VECTOR社	1,018	△16.0	1,514	+48.7
フロイント・ターボ社	629	+19.8	773	+23.0
Cos.Mec社	—	—	422	—
<b>営業利益</b>	<b>255</b>	<b>△313.3</b>	<b>245</b>	<b>△4.0</b>
単体	228	+142.5	253	+10.8
FREUND-VECTOR社	30	—	△3	—
フロイント・ターボ社	△3	—	56	—
Cos.Mec社	—	—	△61	—
<b>受注高</b>	<b>6,705</b>	<b>+26.3</b>	<b>7,695</b>	<b>+14.8</b>
単体	4,156	+47.0	3,454	△16.9
FREUND-VECTOR社	2,019	+14.8	3,382	+67.5
フロイント・ターボ社	529	△26.9	659	+24.4
Cos.Mec社	—	—	365	—
<b>受注残高</b>	<b>7,330</b>	<b>+7.1</b>	<b>9,034</b>	<b>+23.2</b>
単体	5,228	+18.1	5,212	△0.3
FREUND-VECTOR社	1,685	△5.9	2,838	+68.4
フロイント・ターボ社	415	△33.7	518	+24.8
Cos.Mec社	—	—	619	—

## 機械部門：地域別動向

- 日本市場は微増に止まるも海外市場は倍増。
- 米国：前年上期のコロナの影響を脱し増収。
- 中南米：前年のコロナ影響から回復。Cos.Mec社連結化効果。
- 欧州：アイルランドの大口案件、Cos.Mecの連結化効果。
- アジア：インド、バングラデシュ向けが増収。

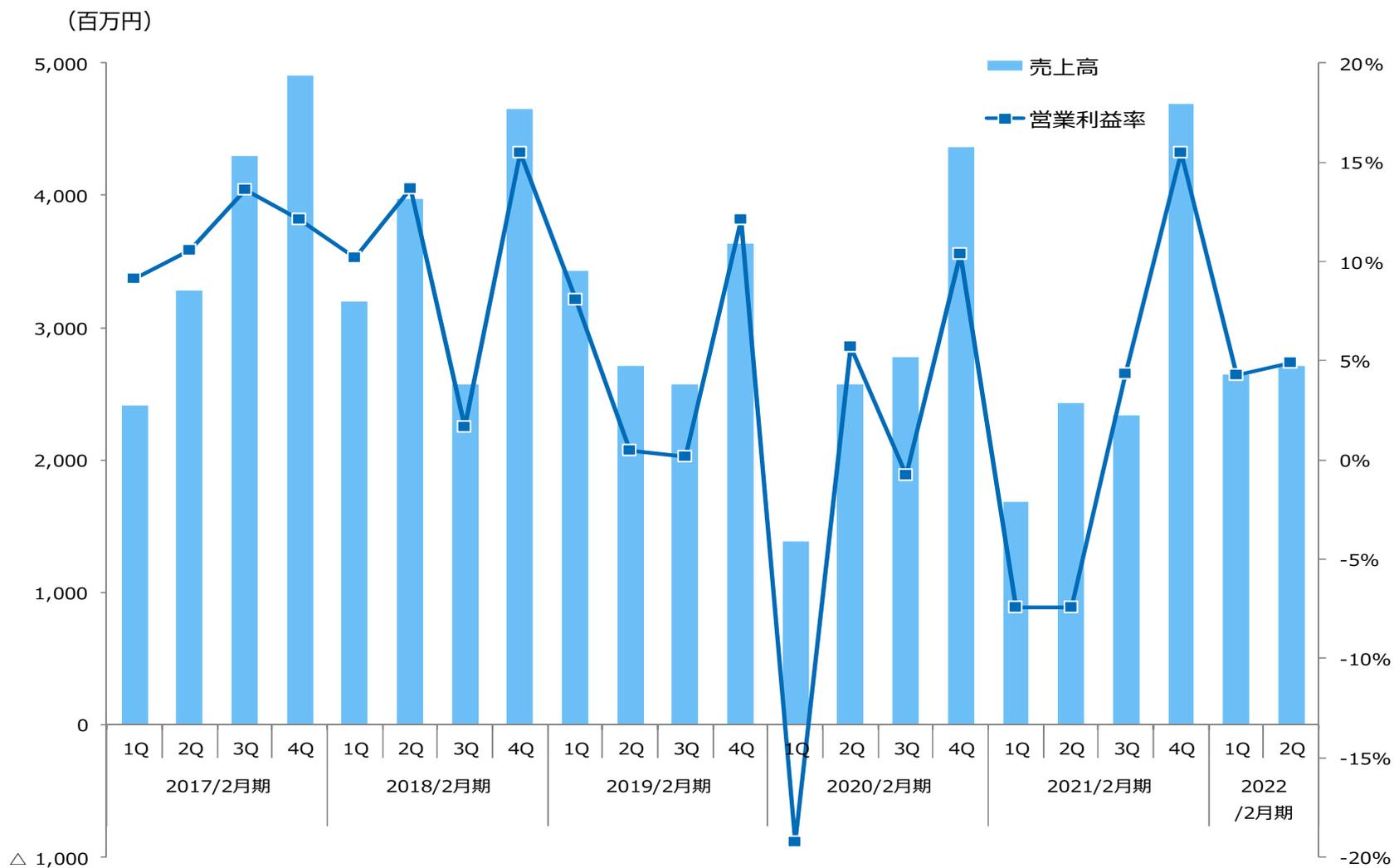
(単位：百万円)

	2021/2月期 上半期		2022/2月期 上半期	
	金額	前年同期比(%)	金額	前年同期比(%)
売上高	4,125	+4.1%	5,366	+30.1%
日本	2,989	+16.9%	3,095	+3.5%
海外	1,136	△19.3%	2,270	+99.8%
米国	400	△47.1%	777	+94.1%
中南米	119	△49.2%	442	+269.5%
欧州	139	△7.4%	396	+185.2%
アジア	344	+75.0%	513	+49.2%
その他	132	+97.5%	139	+5.6%

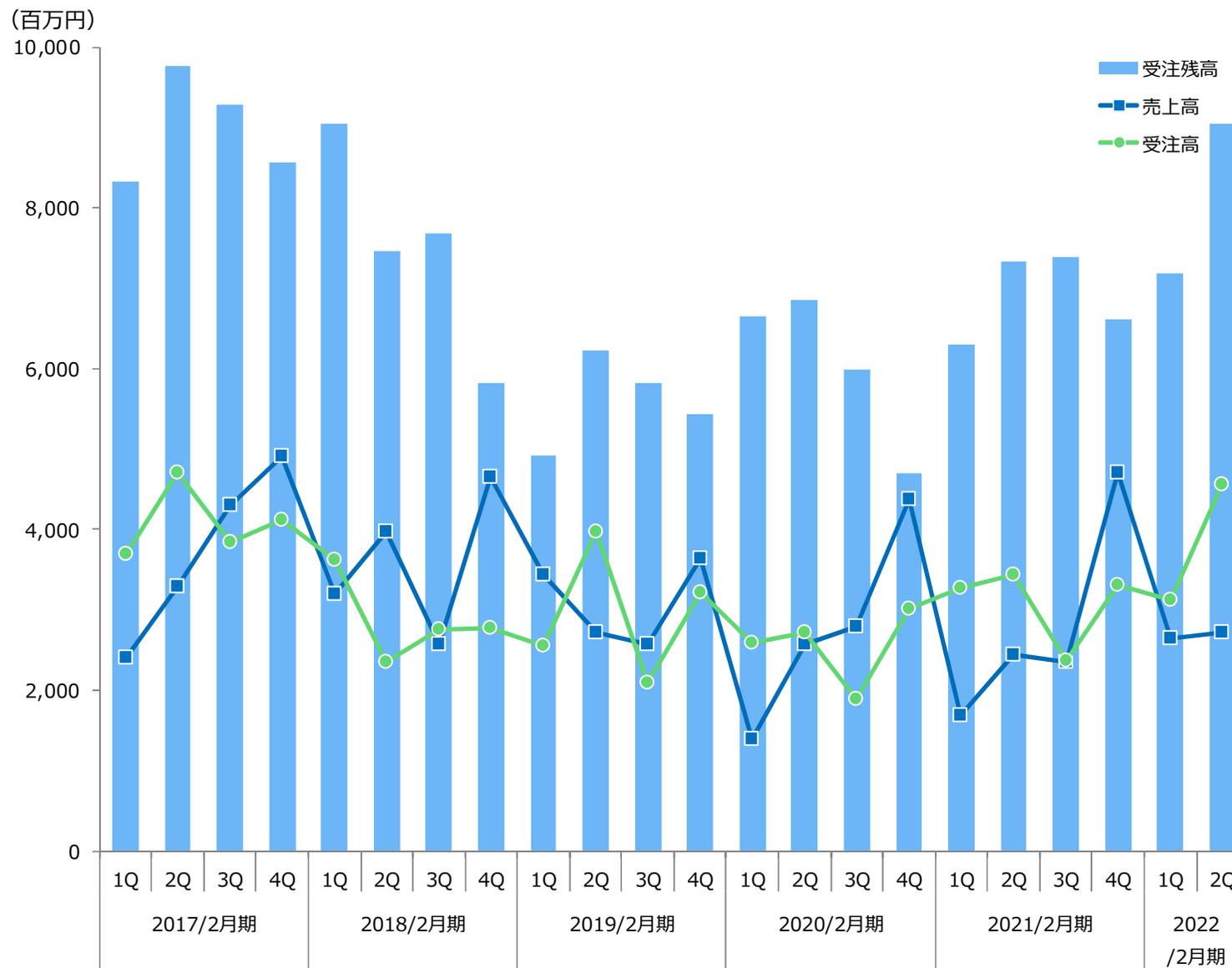
# 機械部門：四半期推移

【売上高】

【営業利益率】



# 機械部門：四半期推移（売上高・受注高・受注残高）



## 化成品部門：概況

### ● 売上高

- 医薬品添加剤 : ジェネリックの品質・安定供給問題の影響あるも前年比増収を確保。
- 食品品質保持剤 : スーパー、コンビニでのお菓子販売が好転し前年比増収。
- 健康食品 : 大口ユーザーからの受託終了の影響により前年比大幅減収。
- 輸出 : ほぼ計画通り。

- セグメント利益 : 医薬品添加剤、品質保持剤の増収、及び原価低減効果により前年比増益。健康食品は低利益率であり、減益インパクト小。

(単位：百万円)

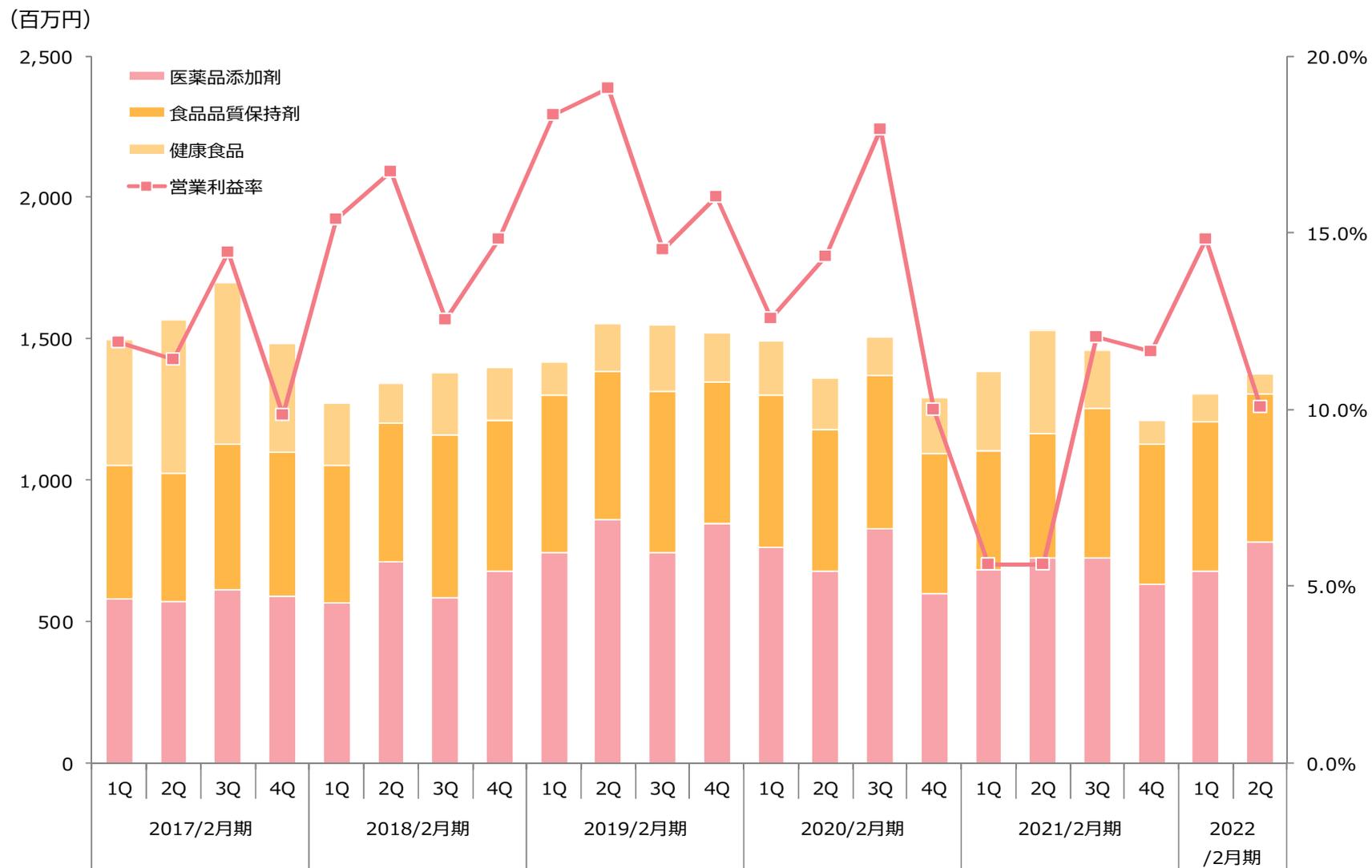
	2021/2月期 上半期		2022/2月期 上半期	
	金額	前年同期比(%)	金額	前年同期比(%)
<b>売上高</b>	<b>2,917</b>	<b>+2.3</b>	<b>2,682</b>	<b>△8.1</b>
医薬品添加剤	1,409	△2.3	1,461	+3.7
食品品質保持剤	863	△16.9	1,049	+21.5
健康食品	644	+73.8	171	△73.4
(輸出売上高) ※ 1	104	+29.5	123	+18.2
<b>営業利益</b>	<b>228</b>	<b>△40.2</b>	<b>331</b>	<b>+45.2</b>

※ 1 主な輸出先：欧州・インド・韓国・中国・台湾 等

# 化成品部門：四半期推移（分野別業績）

【売上高】

【営業利益率】



## 連結損益計算書サマリ

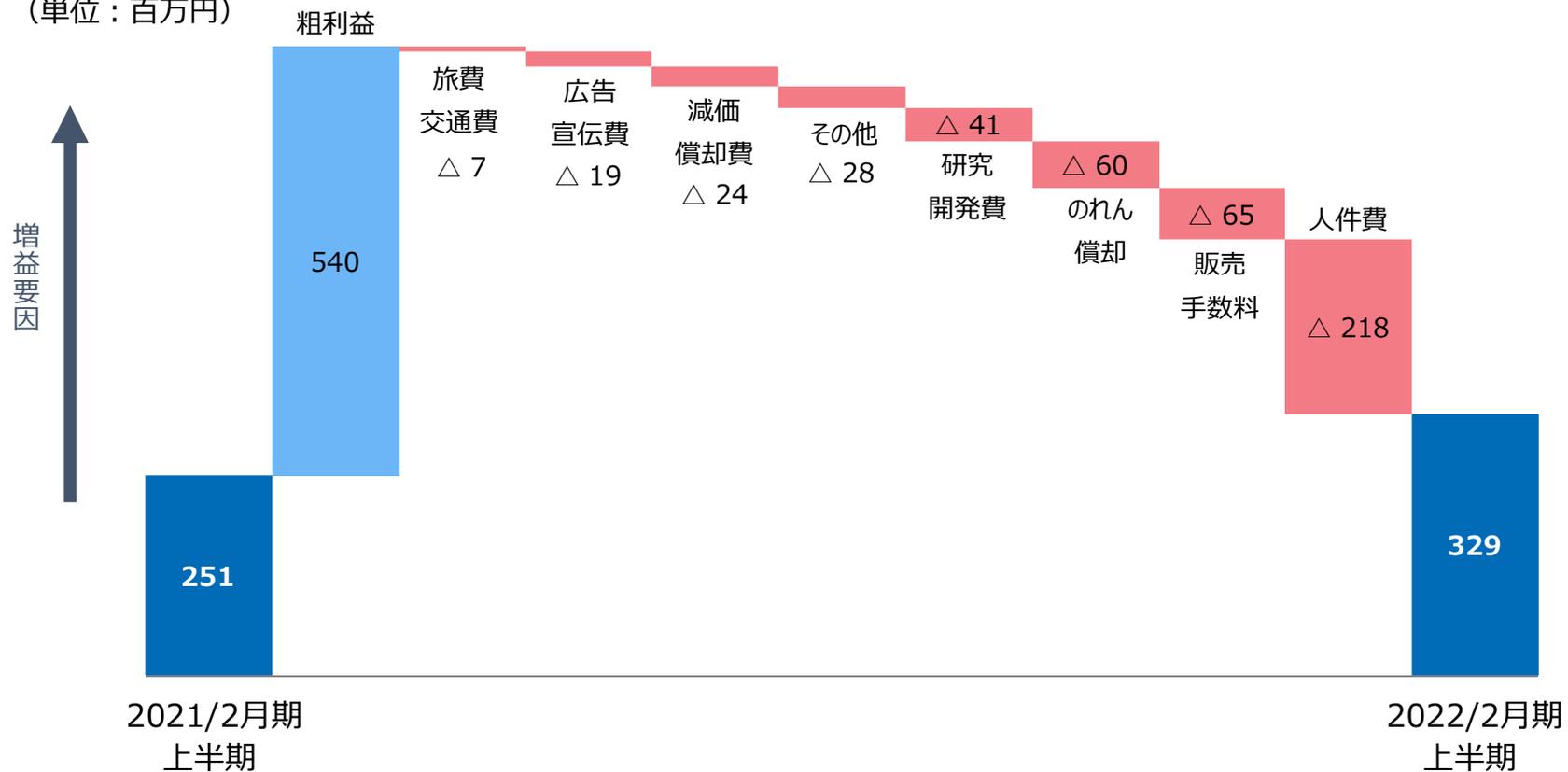
(単位：百万円)

	2021/2月期 上半期		2022/2月期 上半期		前年同期比増減	
	金額	構成比 (%)	金額	構成比 (%)	金額	%
売上高	7,043	100.0%	8,048	100.0%	1,004	+14.3%
売上原価	4,779	67.9%	5,243	65.2%	+463	+9.7%
売上総利益	2,263	32.1%	2,804	34.8%	540	+23.9%
販管費	2,012	28.6%	2,475	30.8%	+462	+23.0%
営業利益	251	3.6%	329	4.1%	+78	+31.2%
営業外損益	20	0.3%	20	0.3%	+0	+2.6%
経常利益	271	3.9%	350	4.4%	+78	+29.1%
特別損益	△ 4	-	△ 2	0.0%	+2	-
税引前利益	266	3.8%	347	4.3%	+81	+30.6%
半期純利益	183	2.6%	226	2.8%	+42	+23.2%

## 連結営業利益増減分析

- 増収による粗利益増が営業利益増益の最大要因。
- 販管費は前年比4.6億円増加。要因は、①前年に米国子会社の補助金受け取りにより販管費が2.3億円圧縮されていること、②Cos.Mec社の連結化。
- 米国子会社の特殊要因を除けば、実質的には営業利益は約3億円の増益。

(単位：百万円)



## 連結貸借対照表サマリ

(単位：百万円)

	2021/2月期	2022/2月期 上半期	増減額
流動資産	13,558	13,204	△354
現金及び預金	4,498	4,258	△239
売上債権	4,870	4,077	△793
棚卸資産	3,473	4,209	+736
固定資産	6,941	7,002	+61
有形固定資産	4,734	4,690	△44
無形固定資産	1,189	1,268	+79
投資その他資産	1,017	1,043	+26
資産合計	20,499	20,206	△293
流動負債	5,817	5,464	△353
仕入債務	2,966	2,140	△825
前受金	1,170	2,011	+841
固定負債	797	797	+0
退職給付に係る負債	280	284	+4
負債合計	6,614	6,262	△352
純資産合計	13,884	13,944	+59

## 連結キャッシュ・フロー計算書サマリ

(単位：百万円)

	2021/2月期	2022/2月期 上半期
<b>営業キャッシュ・フロー</b>	<b>2,280</b>	<b>504</b>
税引前利益	1,323	347
減価償却費	414	241
売上債権の増減額 (△は増加)	674	824
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△ 112	△ 680
仕入債務の増減額 (△は減少)	△ 340	△ 762
法人税等の支払額	△ 174	△ 196
<b>投資キャッシュ・フロー</b>	<b>△ 1,726</b>	<b>△ 351</b>
有形固定資産の取得による支出	△ 469	△ 310
無形固定資産の取得による支出	△ 8	△ 67
<b>財務キャッシュ・フロー</b>	<b>△ 371</b>	<b>△ 416</b>
リース債務の返済による支出	△ 9	△ 19
配当金の支払額	△ 333	△ 334
現金及び現金同等物 増減額	184	△ 239
現金及び現金同等物 期末残高	4,498	4,258
<b>フリー・キャッシュフロー</b>	<b>554</b>	<b>153</b>

2022年2月期  
連結業績・配当予想



## 連結業績予想サマリ

- 通期業績予想は、期初公表した予想を据え置き
- 上半期業績の利益水準は計画通り進捗中
- 前期米国子会社補助金要因を勘案すれば実質増益を予想

(単位：百万円/円)

	2021/2月期 (実績)	2022/2月期 (予想)	前期比増減	
			金額	%
売上高	16,765	18,500	+1,734	+10.3
営業利益	1,147	1,100	△47	△4.2
経常利益	1,344	1,130	△214	△16.0
純利益	995	790	△205	△20.7
一株純利益	59.47	47.18	△12.29	△20.7
為替(円/ドル：+は円高)	105.98	105.00	-	-
設備投資	637	-	-	-
減価償却費	414	-	-	-
研究開発費	526	-	-	-

## 部門別業績予想サマリ

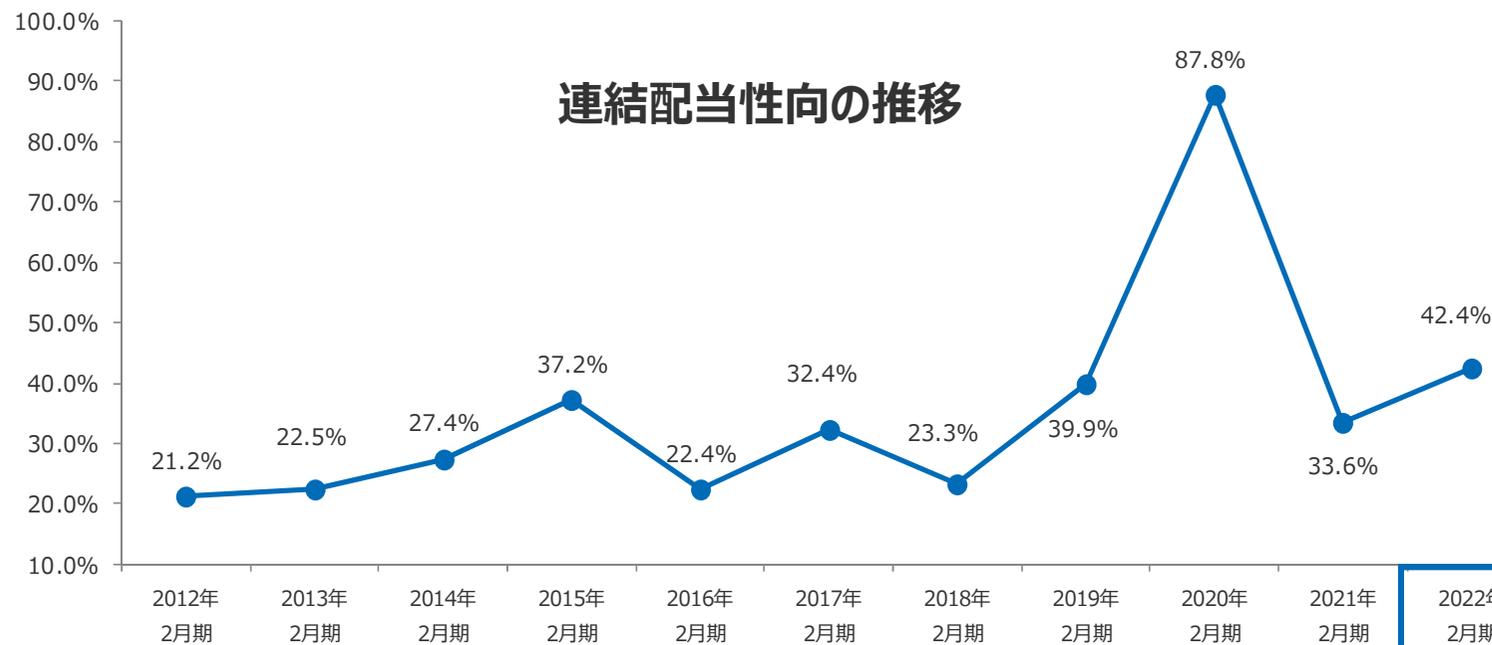
- 機械部門 : 受注獲得活動強化、日本・米国・イタリア・インドの4極体制で新興国を含む世界カバレッジを高める
- 化成品部門 : 大口ユーザーからの受託終了による健康食品の減収を医薬品添加剤、食品品質保持剤の増収でカバー

(単位：百万円)

	2021/2月期		2022/2月期 (予想)		前期比増減	
	金額	構成比 (%)	金額	構成比 (%)	金額	%
連結売上高	16,765	100.0	18,500	100.0	+1,734	+10.3
機械部門	11,171	66.6	13,100	70.8	+1,928	+17.3
化成品部門	5,593	33.4	5,400	29.2	△193	△3.5
セグメント利益	1,147	100.0	1,100	100.0	△47	△4.2
機械部門	1,084	94.5	-	-	-	-
化成品部門	546	47.6	-	-	-	-
全社、消去	△482	△42.1	-	-	-	-
為替(円/ドル：+は円高)	105.98	-	105.00	-	-	-

## 配当予想サマリ

- 2021年2月期は、1株当たり20円の実績。
- 2022年2月期についても、1株当たり20円を予想。



	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
	2月期	2月期	2月期	2月期	2月期	2月期	2月期	2月期	2月期	2月期	2月期
当期純利益 (百万円)	608	765	787	695	961	1,064	1,477	843	381	995	790
1株当たり配当金 (円)	7.5	10.0	12.5	15.0	12.5	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0
発行済株式総数 (千株)	9,200	9,200	9,200	9,200	9,200	18,400	18,400	18,400	18,400	18,400	18,400

(注) 2009年6月1日付け及び2016年3月1日付けで株式分割1対2を実施しており、2016年2月期以前の配当金は分割調整後の金額です。

# トピックス



Copyright(C) 2019 Freund Corp. All rights reserved.



## 新製品 自動錠剤コーティング装置【ハイコーターV【ファイブ】】 ※特許出願中

- 2021年9月、第5世代となる自動コーティング装置「ハイコーターV」を発売
  - 独自の機構・ソフトウェア開発により、コーティング工程の省人化に対応
  - 従来機以上のスピードと品質の安定性を実現
  - 装置部品の着脱や交換、洗浄などの作業負荷を大幅に低減
  - 装置の使いやすさの向上を追求



## (参考資料)

- ・ プロフィール
- ・ セグメント情報

## プロフィール

---

- 
- 社名 : フロイント産業株式会社
  - 設立 : 1964年4月
  - 代表者 : 代表取締役社長 伏島 巖
  - 所在地 : 東京都新宿区西新宿六丁目25番13号
  - 資本金 : 10億3,560万円 (2021年8月末現在)
  - 売上高 : 167億円 (2021年2月期：連結)
  - 従業員 : 475名 (2021年8月末現在：連結)
  - 事業内容 : 機械事業 …… 造粒・コーティング装置等の製造販売  
化成品事業 …… 医薬品添加剤、食品品質保持剤等の製造販売
  - グループ会社 : FREUND-VECTOR CORPORATION  
フロイント・ターボ株式会社  
Cos.Mec s.r.l.  
Parle Freund Machinery Private Limited
-

## 独創的技術でのグローバル化を積極的に推進



# ビジネスモデルの特徴は「Pen」と「Ink」

## 1. 機械部門



Pen

- 医薬品、食品、ファインケミカルなどのさまざまな分野向けに造粒、コーティング装置などを製造・販売
- コーティング装置の国内販売シェアはトップ  
アジア市場に加え、米国子会社の欧・米展開も加速  
世界で製剤技術と機械装置を唯一共有する
- 造粒・コーティング技術に粉碎・分級技術を融合させることで産業向け装置の拡販も注力

## 2. 化成品部門

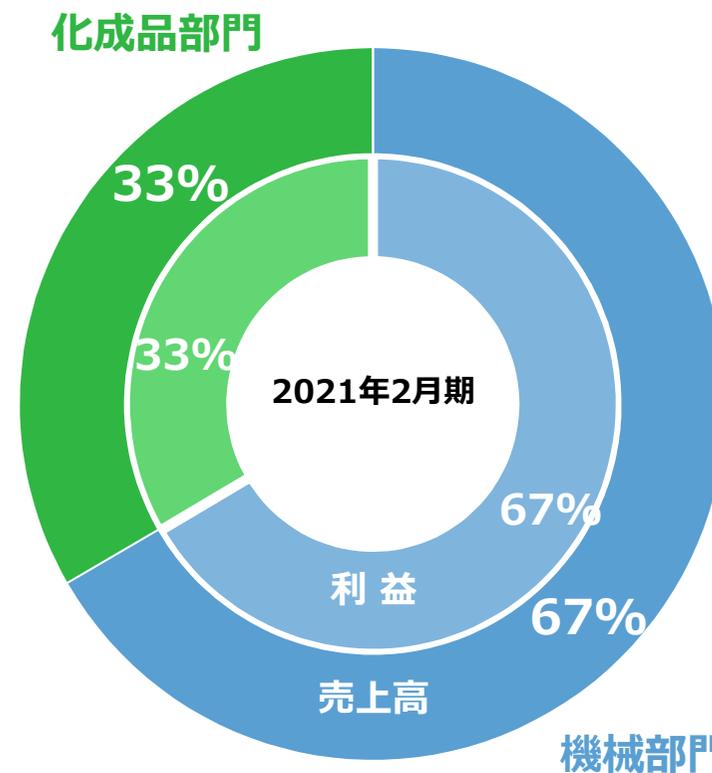


Ink

- 医薬品添加剤、食品品質保持剤、栄養補助食品などを製造・販売
- 医薬品添加剤は、GMP※1対応設備で生産
- 食品品質保持剤は、さまざまな食品の品質保持に利用され、安全な食生活に役立つ
- 造粒・コーティング技術を用い、ユーザーとの共同開発で栄養補助食品やシームレスミニカプセルを商品化

※1 GMP : Good Manufacturing Practice

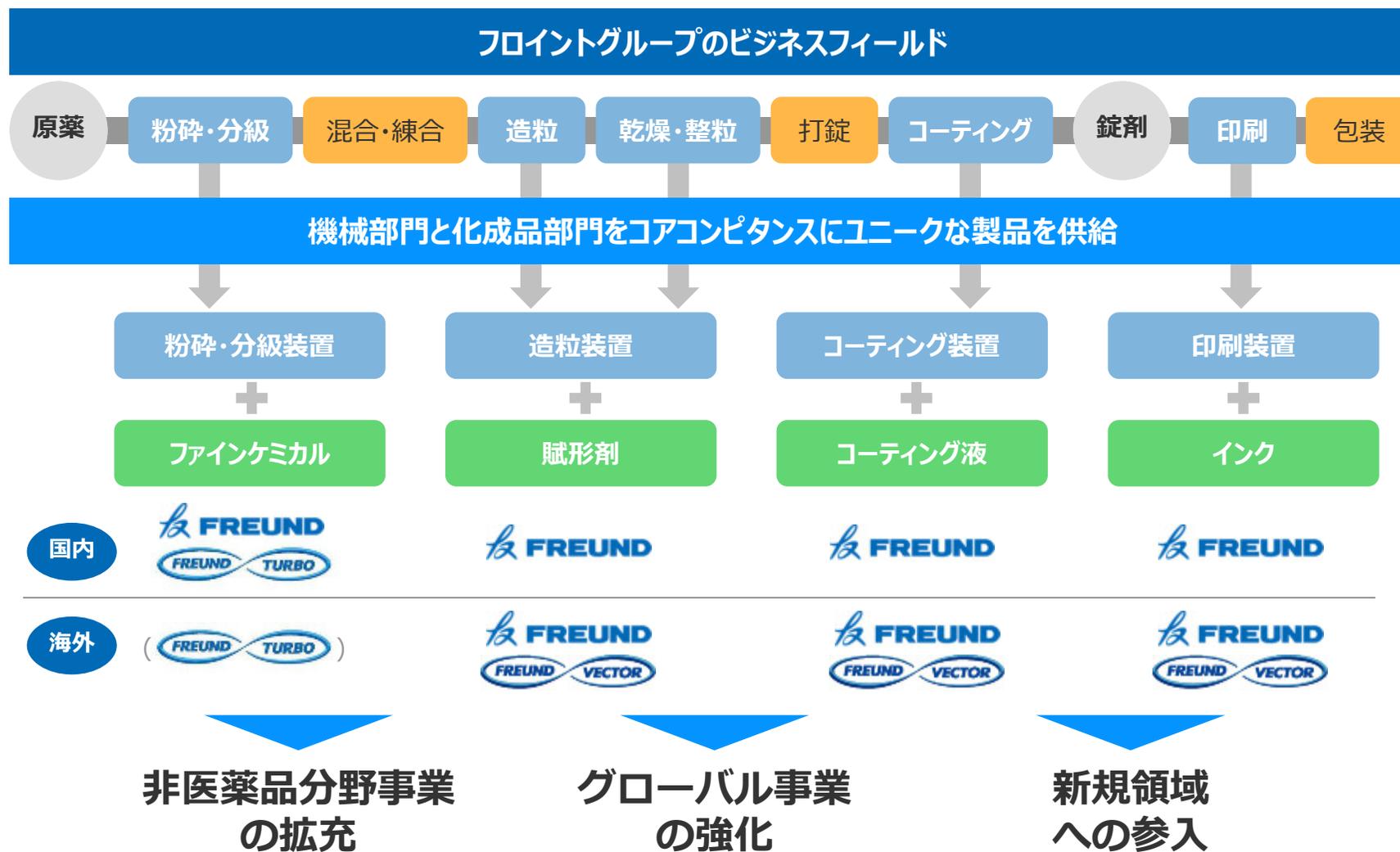
## セグメント別 売上高及び利益構成



連結売上高 **167.6**億円  
連結営業利益 **11.4**億円

# グループのビジネスフィールド

- 医薬品の製造工程に基づくフロイントグループの事業領域



# フロントグループ ディスクロージャーポリシー

## 1. 情報開示の基本方針

当社は、広く社会に信頼される企業として、経営の透明性向上を重要な責務のひとつと考えています。その考えに基づき、すべてのステークホルダーの皆さまに、会社情報の公平かつ適時適正な開示を継続的にを行います。

## 2. 情報開示の基準

当社は、会社法、金融商品取引法などの関係法令および当社が上場する証券取引所が定める適時開示に関する諸規則にしたがって、情報開示を行います。

当社は、関係法令および適時開示に関する諸規則に該当しない情報であっても、株主・投資家の皆さまの投資判断にとって必要であると考えられる情報については、積極的に開示いたします。

## 3. 情報開示の方法

当社は、東京証券取引所の提供する適時開示情報伝達システム（Timely Disclosure network、以下「TDnet」という）を通じて情報を開示いたします。TDnetにより開示した情報は、情報開示の適時性・公平性に配慮し、速やかに当社のインターネットホームページに掲載いたします。

そのほかの情報についても、適時開示の趣旨に則り、プレスリリース、当社のインターネットホームページへの掲載などにより公平かつ迅速に開示いたします。より多くのステークホルダーの皆さまに分かりやすい開示を行うため、開示情報は日本語とあわせ、その英訳の開示に努めます。

## 4. インサイダー取引の未然防止

当社は、内部情報の適切な管理および株式などの売買などについて遵守すべき基本事項を社内規則に定め、インサイダー取引規制の周知徹底と株式などの売買管理体制の適切な運用により、インサイダー取引を未然に防止します。

## 5. 沈黙期間

当社は、決算情報の漏洩を防止し、法令遵守および公平性を確保するため、各四半期決算期日の翌日から当該決算発表日までを「沈黙期間」と定めます。当該期間中は、決算に関連するコメントや質問・照会に対する回答は差し控えさせていただきます。ただし、業績が予想と大きく乖離する可能性がある場合には、適時開示に関する諸規則に従い適時適正に開示いたします。

## 6. 将来予測について

当社が開示する情報の中には、業績予想以外にも戦略、事業計画などの将来予測に関する情報が含まれておりますが、これらの情報は作成段階において入手可能な情報をもとに判断したものであり、その後の経済情勢や市場環境の変化などによって、将来予測は大きく異なる可能性があります。

(2017年3月27日制定)

# I R活動の方針

## 株主・投資家との建設的な対話に関する方針

当社は、会社の持続的な成長と中長期的な企業価値の向上をめざし、株主・投資家の皆様との建設的な対話を積極的に進めます。当社の経営方針や経営状況、企業文化をわかりやすく説明し、株主・投資家の皆様のご理解を得て、「FREUNDファン」として継続的にご支援いただけるように努めます。

### 1. 推進体制株主・投資家の皆様との対話

取締役CFOが統括し、IR担当部署の経営企画本部が担います。

株主の皆様との対話を促進するため、社内の関連部門は、開示資料の作成・審査や必要な情報の共有など、積極的に連携を図り、公正且つ迅速に情報開示を行います。

### 2. ステークホルダーとの対話

当社は期末及び第2四半期の決算説明会（第1・3四半期はスモールミーティング）を実施し、その情報は当社ウェブサイト公開します。また、中長期経営計画を策定した際には、経営戦略や経営計画についてわかりやすく説明いたします。さらに、機関投資家への訪問も積極的に実施し、経営方針や業績の説明を行います。また、証券会社主催の投資家フォーラムや個人投資家説明会等にも参加します。

株主通信やFREUND Report（統合報告書）の発行、ウェブサイト専用ページ（<http://www.freund.co.jp/ir/>）の開設などにより、事業や財務情報とともに財務諸表に載らない資産（見えない資産）を紹介することで当社グループの企業価値を正しくご理解いただけるように、情報開示の充実に努めます。

### 3. 株主・投資家からの意見を社内へフィードバックする仕組み

株主・投資家の皆様との対話において把握された意見は、社長、取締役や関係各部に適宜報告し、情報を共有します。

### 4. インサイダー情報の管理

各四半期の決算期末日より決算発表日までの期間はサイレント（沈黙）期間とし、投資家の皆様との対話を制限しています。インサイダー情報については、社内の内部情報管理・内部者取引規制に関する規程に従い、情報管理の徹底を図っています。

---

**〈お問い合わせ先〉**  
フロイント産業株式会社  
経営企画本部 経営企画部・経理部

TEL:03-6890-0767  
FAX:03-6890-0870  
**E-Mail : ir@freund.co.jp**

当社IRサイトもご覧ください。 <https://www.freund.co.jp>

本資料には当社の計画、見通し、経営戦略および経営方針に基づいた「将来予測に関する記載」が含まれております。この「将来予測に関する記載」には発表日時点までに入手可能な情報に基づいた経営判断や前提が述べられております。そのため諸与件の変化により、実際の業績は「将来予測に関する記載」とは異なる結果となる可能性があります。従って本資料における業績予想などの「将来予測に関する記載」が将来に亘って正確であることを保証するものではないことを、ご了解いただきますようお願い致します。なお、掲載内容について当社はあらゆる面から細心の注意を払っておりますが、それらには誤りやタイプミス等が含まれる可能性があります。